

能登有料道路無料化記念

2013年4月15日(月)～6月30日(日)

ラポルトすず音ミュージアム

石川県珠洲市飯田町1-1-8 TEL0768-82-8200

午前9時～午後6時

火曜日定休(その日が祭日の場合は翌日が定休日)

西のぼる氏が挿絵を手掛けた安部龍太郎氏の日本経済新聞連載小説「等伯」が第148回直木賞を受賞されたことを受けて、「西のぼるが描く直木賞作家の世界」と題して、これまで西氏が携わった直木賞作家の装幀画や挿絵の原画、関連資料を紹介いたします。



「等伯」挿絵より

「世界農業遺産」原画より

西のぼるが描く 直木賞作家の世界

直木賞受賞記念

5月4日 (土) 午後3時～5時

ラポルトすず 大ホール

安部龍太郎×西のぼる対談

司会/HAB 金子美奈アナウンサー

【著者サイン会】 ご来場者に【世界農業遺産の絵はがきを進呈】

主催/珠洲市 後援/北陸朝日放送(HAB)

協賛/文藝春秋、能登平家の郷構想推進協議会

特別協力/日本経済新聞出版社、北陸中日新聞社

協力/角川書店、幻冬舎、講談社、集英社、新潮社、中央公論新社、日本経済新聞社、毎日新聞社、山口新聞社、その他(アイウエオ順)

ごあいさつ

このたび、珠洲市出身の挿絵画家である西のぼる氏のご協力により、能登有料道路が「のと里山海道」として全線無料化されることを記念して、挿絵原画を中心とした絵画展を開催することになりました。

今回は、西氏が挿絵を手掛けた安部龍太郎氏の日本経済新聞連載小説「等伯」が第148回直木賞を受賞されたことを受け、「西のぼるが描く直木賞作家の世界」と題して、これまで西氏が携わった直木賞作家の装幀画や挿絵の原画、関連資料を紹介いたします。

あわせて、珠洲市を含む能登半島が、世界的に重要な農業の遺産として国内で初めて認定されたことを受けて描いた世界農業遺産に関する作品のうち、未公開2点を含む全12点を展示し、西氏の作品を通して、日本の原風景ともいえる珠洲の里山里海の営みを広く紹介する機会としたいと思います。

歴史背景や登場人物の心理を独特の色彩や雰囲気によって読み手を引き付ける西氏の世界をぜひご覧ください。
珠洲市長 泉谷 満寿裕

西のぼるが描く 直木賞作家 の世界

[展示内容]

- これまで西氏が手掛けた直木賞作家の作品に使われた装幀画や挿絵の原画、周辺資料
- 世界農業遺産に関する作品
- 映像(スライドショー)による作品の展示
- 北陸中日新聞連載エッセイ「画中日記」の展示

[西のぼるがこれまでに携わった直木賞受賞作家一覧]

海音寺潮五郎、村上元三、柴田錬三郎、南條範夫、城山三郎、多岐川恭、平岩弓枝、司馬遼太郎、池波正太郎、水上勉、杉本苑子、安西篤子、永井路子、五木寛之、早乙女貢、陳舜臣、井上ひさし、藤沢周平、藤本義一、津本陽、志茂田景樹、皆川博子、白石一郎、藤堂志津子、泡坂妻夫、古川薫、宮城谷昌光、高橋義夫、出久根達郎、北原亜以子、佐藤雅美、中村彰彦、浅田次郎、宮部みゆき、佐藤賢一、山本一力、乙川優三郎、松井今朝子、葉室麟、安部龍太郎 (受賞順)



西のぼる

1946年石川県珠洲市に生まれる。
1979年講談社『小説現代』で挿絵画家としてデビューする。
1993年第二回日本文芸家クラブ大賞・美術部門賞を受賞。
1997年珠洲市文化功労賞を受賞。
1999年石川テレビ賞を受賞。
2001年「はやぶさ新八御用旅・東海道五十三次」(平岩弓枝作)、「華榮の丘」(宮城谷昌光作)の挿絵で、第三十二回講談社出版文化賞。
2008年画業三十周年を記念し石川近代文学館など国内6ヶ所で展覧会を開催。
2010年中日文化賞、石川県文化功労賞を受賞。
2011年七尾美術館で「等伯を描く」展を開催。
2012年ラポルト珠洲で「西のぼる世界農業遺産を描く」展、七尾美術館で「等伯を描く 西のぼる 絵仕事世界」展、GINZA TANAKA 銀座本店で「西のぼる～文学の絵展～等伯を描く」展開催。毎年、地元石川県内外で、個展を開催。著書に、『さし絵の周辺』、共著に『能登の細道』、『加賀の細道』がある。繊細で明るい独特の画風で、時代・歴史小説を中心に多くの装画、装幀、挿絵を手がける。



司馬遼太郎「尻喚え孫市上下」装画



村上元三「源 義経」装画



平岩弓枝「はやぶさ新八御用旅」装画



宮城谷昌光「華榮の丘」装画



白石一郎「東海道をゆく」装画



「世界農業遺産」原画より